

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	東予森林計画区（とうよ） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署												
事業の概要・目的	<p>東予森林計画区は、愛媛県東部に所在する8,980haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>6 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>47 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.9 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	6 (ha)		保育面積	47 (ha)	路網整備	開設延長	3.5 (km)		改良延長	5.9 (km)
森林整備	更新面積	6 (ha)													
	保育面積	47 (ha)													
路網整備	開設延長	3.5 (km)													
	改良延長	5.9 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	530,038千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>22,221千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>10,677千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>2,377千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>1,187,868千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>244,029千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,467,172千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	22,221千円	山地保全便益	10,677千円	環境保全便益	2,377千円	木材生産便益	1,187,868千円	森林整備経費縮減等便益	244,029千円	計	1,467,172千円
	水源かん養便益	22,221千円													
山地保全便益	10,677千円														
環境保全便益	2,377千円														
木材生産便益	1,187,868千円														
森林整備経費縮減等便益	244,029千円														
計	1,467,172千円														
分析結果（B / C）	2.77														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、現地に適した樹種方法による更新、保育が検討されており、林道開設時には、現地発生材料の利用などコスト縮減による検討がなされており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	嶺北仁淀森林計画区（れいほくによど） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署												
事業の概要・目的	<p>嶺北仁淀森林計画区は、高知県北部に所在する3,710haの国有林野を対象としている。 当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。 本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>3 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>91 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.1 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	3 (ha)		保育面積	91 (ha)	路網整備	開設延長	4.3 (km)		改良延長	1.1 (km)
森林整備	更新面積	3 (ha)													
	保育面積	91 (ha)													
路網整備	開設延長	4.3 (km)													
	改良延長	1.1 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	432,559千円													
	総便益（B）	<table> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>99,901千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>23,088千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>6,659千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>914,571千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>355,948千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,400,167千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	99,901千円	山地保全便益	23,088千円	環境保全便益	6,659千円	木材生産便益	914,571千円	森林整備経費縮減等便益	355,948千円	計	1,400,167千円
	水源かん養便益	99,901千円													
山地保全便益	23,088千円														
環境保全便益	6,659千円														
木材生産便益	914,571千円														
森林整備経費縮減等便益	355,948千円														
計	1,400,167千円														
分析結果（B / C）	3.24														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、現地に適した樹種方法による更新、保育が検討されており、林道開設時には、現地発生材料の利用などコスト縮減による検討がなされており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	高知森林計画区（こうち） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 高知中部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>高知森林計画区は、高知県中東央部に所在する14,068haの国有林野を対象としている。 当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。 本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>81 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>324 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.0 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	81 (ha)		保育面積	324 (ha)	路網整備	開設延長	7.5 (km)		改良延長	5.0 (km)
森林整備	更新面積	81 (ha)													
	保育面積	324 (ha)													
路網整備	開設延長	7.5 (km)													
	改良延長	5.0 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	991,056千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>270,727千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>62,499千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>19,558千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>2,685,593千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>778,707千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,817,084千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	270,727千円	山地保全便益	62,499千円	環境保全便益	19,558千円	木材生産便益	2,685,593千円	森林整備経費縮減等便益	778,707千円	計	3,817,084千円
	水源かん養便益	270,727千円													
山地保全便益	62,499千円														
環境保全便益	19,558千円														
木材生産便益	2,685,593千円														
森林整備経費縮減等便益	778,707千円														
計	3,817,084千円														
分析結果（B / C）	3.85														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、現地に適した樹種方法による更新、保育が検討されており、林道開設時には、現地発生材料の利用などコスト縮減による検討がなされており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	愛媛
森林計画区	東予
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	12,193		12,193	
	流域貯水便益	4,325		4,325	
	水質浄化便益	5,703		5,703	
国土保全便益	土砂流出防止便益	10,677		10,677	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	2,377		2,377	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		1,066,953	1,066,953	
	木材利用増進便益		3,250	3,250	
	木材生産便益(森林整備分)	8,620		8,620	
	木材生産便益(路網整備分)		109,045	109,045	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		118,802	118,802	
	作業道作設経費縮減便益		43,043	43,043	
	治山経費縮減便益		51,783	51,783	
	森林管理等経費縮減便益		30,401	30,401	
総便益額 (B)		43,895	1,423,277	1,467,172	
総費用額 (C)		14,217	515,821	530,038	
費用対効果分析 (B) / (C) =				2.77	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	嶺北
森林計画区	嶺北仁淀
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	56,186		56,186	
	流域貯水便益	18,854		18,854	
	水質浄化便益	24,861		24,861	
国土保全便益	土砂流出防止便益	23,088		23,088	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	6,659		6,659	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		825,530	825,530	
	木材利用増進便益		2,084	2,084	
	木材生産便益(森林整備分)	13,966		13,966	
	木材生産便益(路網整備分)		72,991	72,991	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		75,577	75,577	
	作業道作設経費縮減便益		39,260	39,260	
	治山経費縮減便益		214,825	214,825	
	森林管理等経費縮減便益		26,286	26,286	
総便益額 (B)		143,614	1,256,553	1,400,167	
総費用額 (C)		21,759	410,800	432,559	
費用対効果分析 (B) / (C) =				3.24	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	高知中部
森林計画区	高知
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	152,095		152,095	
	流域貯水便益	51,334		51,334	
	水質浄化便益	67,298		67,298	
国土保全便益	土砂流出防止便益	62,499		62,499	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	19,558		19,558	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		2,012,999	2,012,999	
	木材利用増進便益		15,540	15,540	
	木材生産便益(森林整備分)	35,737		35,737	
	木材生産便益(路網整備分)		621,317	621,317	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		329,529	329,529	
	作業道作設経費縮減便益		92,235	92,235	
	治山経費縮減便益		281,938	281,938	
	森林管理等経費縮減便益		75,005	75,005	
総便益額 (B)		388,521	3,428,563	3,817,084	
総費用額 (C)		150,648	840,408	991,056	
費用対効果分析 (B) / (C) =				3.85	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば, 社会経済的に評価でき, 実行可能性があることを意味する。